

平成 27 年 3 月期決算について（単体）

預貸金、貸出先数とも好調を維持、経常利益は過去最高益を更新

【単体決算概要】

（単位：百万円）

	平成 27 年 3 月期	平成 26 年 3 月期	前年同期比
資金利益	30,477	30,592	△114
コア業務純益	10,992	11,370	△377
経常利益	12,312	11,976	336
当期純利益	12,459	12,672	△212

1. 預貸金について

預金は、前年同期比 546 億円増加の 1 兆 8,258 億円、貸出金は、同 281 億円増加の 1 兆 3,306 億円となり、預金・貸出金とも好調に増加しています。

また、お取引先紹介運動の実施により、約 2,000 社の新規事業所先を開拓したことから、貸出事業所先数は前年同期比 863 先増加し、13,572 先に達しました。

2. コア業務純益について

貸出金利の低下が続くなか、預貸金と貸出事業所先数の増加により、資金利益が、ほぼ前年と同水準となったことにより、コア業務純益は、過去最高益となった昨年に迫る 10,992 百万円となりました。

3. 経常利益及び当期純利益について

コア業務純益が順調に推移したことや信用コストの減少などにより経常利益は、過去最高益となる 12,312 百万円となり、当期純利益は、ほぼ前年並の 12,459 百万円となりました。

4. 金融再生法開示債権比率について

金融再生法開示債権比率は、前年同期比 0.34 ポイント低下し 3.90%となりました。

5. 自己資本比率について

自己資本比率は、単体 10.76%、連結 10.87%となりました。

6. 株主資本利益率（ROE、当期純利益ベース）について

株主資本利益率は、地域銀行平均を上回る 9.82%となりました。

コア業務純益・経常利益・当期純利益の推移

